

## LPガスCP速報(2019年4月積)

### 1. 4月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 515<sup>ドル</sup> (前月比+25<sup>ドル</sup>)

ブタン 535<sup>ドル</sup> (前月比+15<sup>ドル</sup>)

#### ① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油市況が年初来高値を更新するなか、アジアのLPG需要が堅調、供給は減産の影響で中東玉に余剰感がなく、米国産は濃霧等の影響があり積遅れでタイト感が強まり極東市況は続騰となった。

中東市場は、OPECプラスの協調減産で原油生産量が減少しLPG生産・輸出も削減、スポット販売に余剰感が少ないのに対し中国、インド、インドネシアのブタン需要も旺盛で需給はタイトになった。米国産は濃霧やヒューストンの化学タンク火災事故の影響もあり、荷役が遅延され、中東～極東市場の逼迫感につながった。極東CFR市況は、第4週には、一時プロパン535<sup>ドル</sup>、ブタン550<sup>ドル</sup>に達したが、週末に反落。フレート市況は、船舶需給が引き締まり続騰となり、第4週で38.5<sup>ドル</sup>まで上昇。

米モンベルビュープロパンスポット価格をみると、原油市況の続騰を受けてスポット価格は堅調に推移、第4週には357～332<sup>ドル</sup>どころで推移(グラフ①)、月間平均では350<sup>ドル</sup>どころでほぼ前月比横這い。全米プロパン在庫は、需要が増加し高水準、輸出も堅調で減少が続いていたが、需要はピークを過ぎ、中旬以降は在庫が増加に転じ、前年同期を45%上回り、5年平均のレンジ中央で推移している。

ナフサは原油に追随し堅調推移、月間平均は553<sup>ドル</sup>、前月比34<sup>ドル</sup>の大幅続騰。バンカーC重油は原油に連れ高、月間平均で430<sup>ドル</sup>どころ、前月比15<sup>ドル</sup>高。

4月CPは前年同月比プロパン40<sup>ドル</sup>、ブタン65<sup>ドル</sup>それぞれ高い。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン1ポイント上昇、ブタン1ポイント下落、前年同月比ではプロパン3ポイント、ブタン8ポイントそれぞれ高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	27.6	30.0	34.5	38.5	32.7
CP先物指標：P	450	475	490	495	478
CP先物指標：B	470	490	510	510	495

#### ② 原油市況等

WTI市況の推移をみると、29日に60.14<sup>ドル</sup>と年初来高値を更新、昨年11月9日以来の水準となった。18日にアゼルバイジャンで開催されたOPECプラスの合同閣僚委員会(JMMC)は6月総会で下期の生産目標決定を勧告、協調減産継続への期待が高まる。サウジ、ロシアが減産強化を発表、ベネズエラの政情不安と大停電で輸出が滞るなか、米国政府の対イラン制裁による影響や米ガソリン需要期を控えた逼迫懸念も台頭した。世界景気減速懸念やトランプ大統領のツイッターによるOPEC牽制で下げる場面もあり不透明感が強い。

一方、米国内原油生産量は、シェール増産により過去最高水準(1,210万b/d)を維持、原油輸入減・輸出増で原油在庫は減少も、製油所稼働率が上がり高水準、直近の在庫は対前年同期比102.9%。なお、米石油リグ稼働数は6週連続で減少し昨年4月以来の水準(816基)。

NYMEXのWTI総取組高は、206～197千枚で推移。CFTC発表の大口投機玉の買越残高(グラフ②)は6週連続増加し449千枚と昨年10月の水準まで回復した。買建玉が561千枚に増加する一方、売建玉は手仕舞われ(買戻し)112千枚まで減少した。

#### ○3月積みアラビアン・ライト(3月1～29日までで想定)は67.68<sup>ドル</sup>(前月比+2.45<sup>ドル</sup>)

熱量等価AL100% プロパン554.91<sup>ドル/トン</sup> ブタン547.29<sup>ドル/トン</sup>

AL比 プロパン92.81% ブタン97.75%

\*上記ALはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

## 2. 2019年4月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

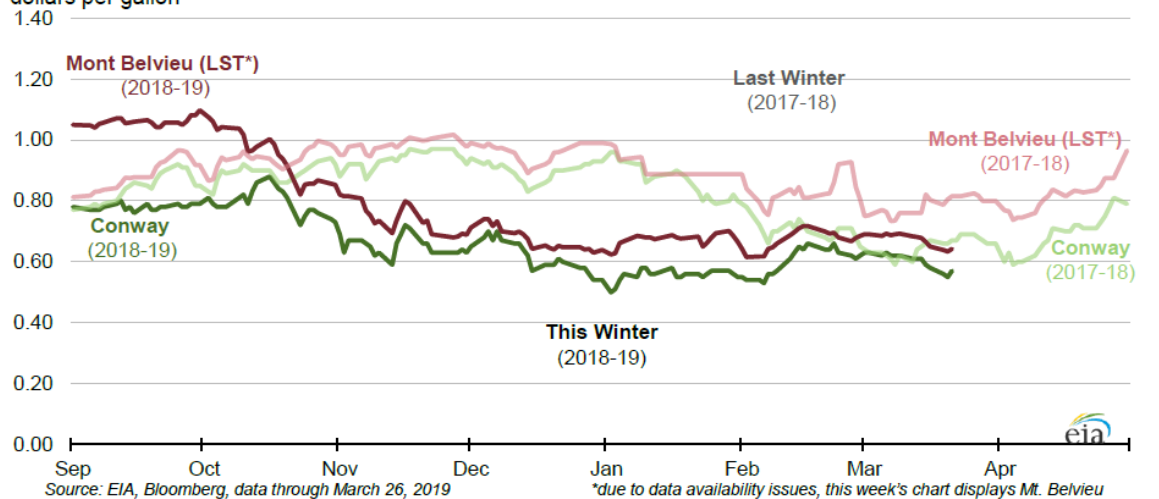
適用為替	T T S	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	112.34	62,000	64,800	60,700	+5,100	+4,600	+4,100
②末日締め	112.24	56,400	59,200	54,800	+4,600	+4,100	+3,400

\* T T S平均について、①が2月21日～3月20日、②3月1～31日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①がCP75%、MB25%、②がCP70%、MB30%で算定。①は中東・北米フレートを含むCFRコストを②はFOB（北米経費込み）コストを表示。

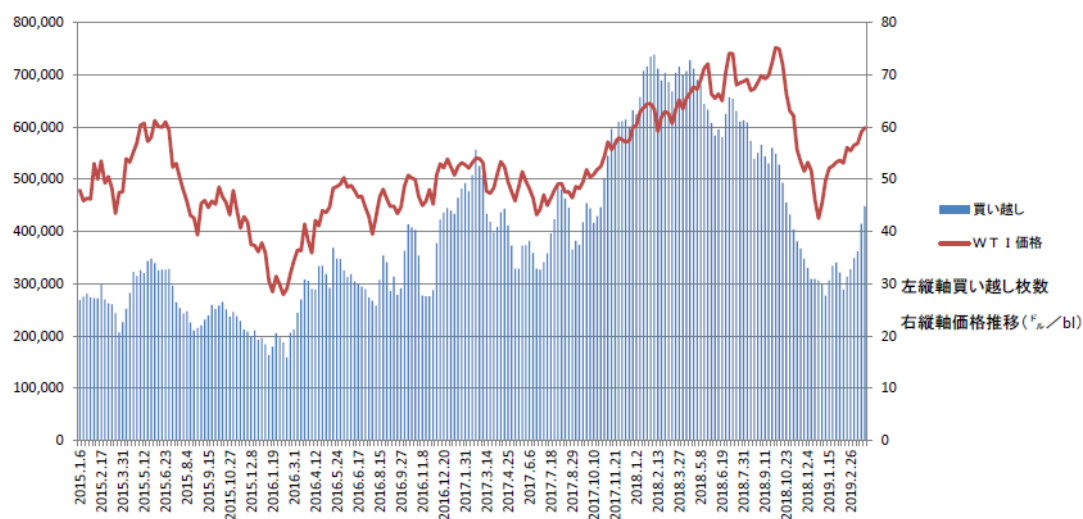
なお、上記MBは3月28日までの価格を基にEINで試算（350ドル/トン）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、仕切等の詳細はWebサイトを参照。

Propane spot prices (Conway, KS and Mont Belvieu, TX)

dollars per gallon



CFTC大口投機建玉買い越しポジションとWTI価格推移



出典: CFTC- OIL, LIGHT SWEET - NEW YORK MERCANTILE EXCHANGE Code-067651Commitments of Traders - Futures Only

グラフ作成: EIN